

事業主体者 株式会社街づくりまんぼう

住所 宮城県石巻市中瀬2-7(石ノ森萬画館 内)

電話 0225-23-2109

URL <http://www.man-bow.com/>

## 事業概要

街づくりまんぼうは、宮城県石巻市を拠点とする街づくり会社として平成13年より活動。石巻の中心市街地の街づくり事業を通して、市街地の商業活性化はもとより、広く石巻市全体の活性化に貢献することを目的として運営されている。萬画家・石ノ森章太郎の作品を中心としたマンガミュージアム「石ノ森萬画館」の管理運営業務を始めとして12事業を手掛ける企業である。

また「萬画の国・いしのまき」をテーマに、石巻に訪れる人々に対し、様々なおもてなしを試みるマンガを活かした夢のあるまちづくりを関係諸団体と連携して実施しており、市内中心部のマンガロードに点在するマンガモニュメントはそのシンボリックな存在となっている。

アプリ「怪人ミャーノガイドの石巻案内所」は、SNSサービスの利用者に向けにAIを活用した観光客誘致を目的とした取り組みである。(実施期間:平成30年3月から開始して継続中。)

東日本大震災後、被災地復興・地方創生の実証実験として、被災地の観光業に対する復興支援の観点と、AIを活用した新たな誘客手段の創造の観点から、NTTDコモより事業協力の申し出があり、パートナーのキャロルシステム仙台とともに3社で実施している。

「怪人ミャーノガイドの石巻案内所」には2つの機能がある。1つ

目は、人工発話機能。利用者が新たな専用のアプリをダウンロードすることなく、普段利用しているSNSサービス上で石巻市へ訪問する前に対話AI(チャットボット)との会話から現地の情報を入手できる機能である。

2つ目は、SNSサービス上で画像認識AIを活用したスタンプラリー。スタンプラリーを楽しむために石巻市を訪問し、市内の観光スポット(アニメキャラクターのモニュメントなど)を回遊するという流れを創出するものである。

案内人として登場するキャラクター「怪人ミャーガノイド」は「シージェッター海斗」(石森プロと街づくりまんぼうが著作権を所有)に登場し、地元のイベントなどにも登場する悪役キャラクターである。悪役キャラクターというイメージが定着していることから、チャット上でユーザーと交わされる会話について、表現の許容範囲が比較的広いという理由で起用している。

本コンテンツは運営者側が対話AIを通じて見込み顧客の属性などの情報収集分析ができ、現地スタンプラリーによる訪問客の回遊情報が把握できる。さらに従来利用されているSNSを活用することで、現地訪問後も引き続きユーザーとのつながりを維持することも可能である。

## 効果や課題

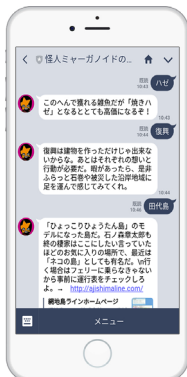
ユーザーの中心は、20代・30代である。当初は平成30年8月末で終了の予定であったが、利用者数が多いことから平成31年7月頃まで継続する計画がある。

ユーザー(「友だち」申請者)は平成30年12月時点約1,600人。県外のユーザーが多く、観光シーズンやイベントを開催すると登録ユーザーが増加する。

当該アプリの利用頻度が少ないユーザーに情報を送信してもユーザー側でブロックすること多いため、発信する情報内容の精査が必要である。

現在活用しているSNSはその利用環境上、他のSNSに比べてユーザー同士の拡散効果が小さいので、利用者数の拡大が課題である

事業費 開発費は実証実験として、各社が負担



「怪人ミャーガノイドの石巻案内所」のトップページ(左)と、チャットボットとの会話画面(右)  
＜イメージ＞



スタンプラリー用の  
ビンゴカード  
＜イメージ＞

